

## 平成30年度における温室効果ガスの排出状況

平成20年6月に策定した津別町地球温暖化対策実行計画の削減目標を達成するため、本計画書に基づき平成20年度から平成24年度までの5年間の第1期、平成25年度から平成29年度までの第2期、平成30年度から令和12年度までの第3期として基準年度（平成25年度）と比較して温室効果ガス排出量26%削減を目標として、町民サービスの質の低下を与えない範囲で照明、OA機器、暖房、公用車等の電気や燃料等の使用抑制を実践してきたところであります。

平成30年度における燃料等の使用量や温室効果ガスの排出量については表2のとおりですが、電気の使用量は、前年より増加する結果となりましたが、役場庁舎や関連施設では減少しており節電への意識向上が成果として表れています。ガソリン使用量が目標値より増えている対策として、ハイブリット車等のエコカーへの更新を図っているほか、ペレットボイラーの稼働によるA重油の削減効果が大きく、道路維持管理の民間委託等による軽油の削減も大きな要因となっており、温室効果ガス削減は平成25年度と平成30年度との対比で8.9%減となりました。

表1. 平成25年度温室効果ガスの項目別排出量（基準年度）

使用区分	使用量	排出換算係数	二酸化炭素換算排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合
ガソリン	30,311 L	2.32	70,322	3.1%
軽油	137,571 L	2.62	354,933	15.9%
灯油	139,801 L	2.49	348,104	15.5%
A重油	96,500 L	2.71	261,515	11.7%
LPG	5,170 m <sup>3</sup>	3.00	15,510	0.7%
電気	2,453,463 KWH	0.485	1,189,930	53.1%
合計	—	—	3,436,784	100.0%

表2. 平成30年度温室効果ガスの項目別排出量

使用区分	使用量	排出換算係数	二酸化炭素換算排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合
ガソリン	30,791 L	2.32	71,435	3.9%
軽油	40,605 L	2.58	104,761	5.6%
灯油	97,176 L	2.49	241,968	13.4%
A重油	100,300 L	2.71	271,813	12.8%
LPG	1,462 m <sup>3</sup>	3.00	4,385	0.2%
電気	1,985,515 KWH	0.678	1,346,179	64.1%
合計	—	—	2,040,541	100.0%

表 3. 温室効果ガスの項目別排出量対比

使用区分	二酸化炭素換算排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )			対比 (H30/H25)
	平成25年度	平成30年度	削減量 (△は増加)	
ガソリン	70,322	71,435	△1,114	101.6%
軽油	354,933	104,761	250,172	29.5%
灯油	348,104	241,968	106,137	69.5%
A重油	261,515	271,813	△10,298	103.9%
LPG	15,510	4,385	11,125	28.3%
電気	1,189,930	1,346,179	△156,250	113.1%
合計	3,436,784	2,040,541	199,773	91.1%

《参考》

平成20年度排出量	3,267,073 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ 4.9%)
平成21年度排出量	2,995,042 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ12.9%)
平成22年度排出量	2,413,956 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ29.8%)
平成23年度排出量	2,745,262 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ20.1%)
平成24年度排出量	2,580,512 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ24.9%)
平成25年度排出量	2,240,314 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ34.8%)
平成26年度排出量	2,458,619 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ28.5%)
平成27年度排出量	2,246,990 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ34.6%)
平成28年度排出量	2,042,853 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ40.6%)
平成29年度排出量	1,900,451 kg-CO <sub>2</sub>	(H18年比 Δ44.7%)